

和歌山県教育功労者・優秀教職員知事感謝状受賞者

《学校教育部門》

長年にわたり、児童生徒の健康管理・健康教育等に携わり献身的活動を続け、その功績が特に顕著である学校医、学校歯科医、学校薬剤師の方々に感謝状を贈呈する。

たに ぐち まさ ひこ
谷 口 雅 彦

和歌山市立山東小学校 学校歯科医

《主な功績》 平成6年から現在まで、学校歯科医として長きにわたり、健康教育に対し、深い理解と情熱をもち、献身的に健康診断や学校保健会の職務に精励し、学校保健の向上に努めた。また、学校保健会の開催する講演会等にも積極的に参加するなど、日々研鑽し、学校歯科保健活動の充実に尽力した功績は多大である。

つじ おか えつ じ
辻 岡 悦 二

和歌山市立高積中学校 学校医

《主な功績》 昭和63年から現在まで、学校医として長きにわたり、健康診断や学校保健会の職務に従事し、健康管理の指導助言を行い、生徒の健康づくりに尽力した。また、和歌山市医師会学校医部会副会長を長年務めるとともに、平成22年から4年間、和歌山市医師会内科部会監事を務めるなど、和歌山市の学校保健の普及と向上に尽力した功績は多大である。

た じり むね かず
田 尻 統 一

海南市立中野上小学校 他1校 学校医

《主な功績》 平成6年から現在まで、学校医として長きにわたり、子供たちの健康診断及び健康の保持・増進のための指導助言を献身的に行うとともに、学校・家庭・学校医が一体となった子供の健康づくりの推進に大きく貢献した。また、海南市における学校保健教育の推進のため、各種学校保健会議等において積極的に助言するなど、海南市の学校保健活動の充実に尽力した功績は多大である。

かわ しま よし み
川 嶋 愛 巳

有田市立箕島中学校 学校医

《主な功績》 平成9年から現在まで、学校医として長きにわたり、学校保健の充実に熱意を持ち、健康診断や指導助言を行うことで、生徒の健康維持とその向上に努めた。また、平成12年から10年間、有田市医師会理事を務め、学校保健委員会へ積極的に参加し、学校へ指導助言を行うとともに、研修会において講演を行うなど、有田市の学校保健行政の進展に貢献した功績は多大である。

うえ はら とし ひろ
上 原 俊 宏

田辺市立中芳養幼稚園 他14校・園 学校医

《主な功績》 平成6年から現在まで、学校医として長きにわたり、田辺市内に所在する多くの学校及び幼稚園等に務め、子供たちの健康管理及び健康教育の推進に尽力した。また、和歌山小児科医会副会長、田辺市医師会副会長等多くの役職を歴任し、和歌山県及び田辺市の学校保健の推進のために献身的に取り組んだ功績は多大である。

かわ ぐち せい じ
川 口 精 司

印南町立切目小学校 他1校 学校医

《主な功績》 平成元年から現在まで、学校医として長きにわたり、健康診断や感染症等の疾病予防のための適切な指導助言を行い、児童の健康管理に尽力した。また、日高医師会理事、日高医師会副議長等の役職を歴任し、児童の喫煙防止の啓発を行うなど、学校保健活動の推進に献身的に取り組んだ功績は多大である。

きた もと いく こ
北 本 育 子

上富田町立岩田小学校 他1校 学校医

《主な功績》 平成3年から現在まで、学校医として長きにわたり、児童の健康診断を行うだけでなく、健康管理面での指導や感染症予防対策等の助言を積極的に行い、学校保健の充実に尽力した。また、上富田町保健事業においても、疾病予防や健康増進に関し、幅広い助言を行うなど、上富田町の学校保健及び健康推進に尽力した功績は多大である。

やま もと じ ろう
山 本 次 郎

和歌山県立貴志川高等学校 他2校 学校歯科医

《主な功績》 平成元年から現在まで、学校歯科医として長きにわたり、児童生徒に歯科疾患の撲滅の啓発を行うとともに、口腔保健衛生に関する深い知識と情熱を持って、歯科保健の向上に尽力した。また、那賀歯科医師会理事、和歌山県歯科医師会常務理事等の役職を歴任し、長年にわたり、和歌山県及び那賀地方の学校歯科保健向上の推進に大きく貢献した功績は多大である。

さか ぐち けんたろう
坂 口 健太郎

和歌山県立貴志川高等学校 他2校 学校医

《主な功績》 平成4年から現在まで、学校医として長きにわたり、学校保健活動の一環として、健康診断時に健康相談及び保健指導等を積極的に行い、児童生徒の健康管理に寄与した。また、旧貴志川町教育委員会委員として、健康教育や学校保健行政に関し、専門的な見地から教育委員会に提言するなど、学校保健活動の充実に尽力した功績は多大である。

さか もと もり たか
坂 本 守 孝

和歌山県立南紀高等学校 学校歯科医

《主な功績》 平成3年から現在まで、学校歯科医として長きにわたり、専門的な見地から必要な指導助言を行い、学校保健の推進に寄与した。また、定時制・通信制それぞれの課程に合わせた健康診断の実施や、勤労学生 of 健康管理について指導を行うなど、多様な生徒が在籍する中、生徒の健康管理及び健全育成に尽力した功績は多大である。

みなと ぐち たか み
湊 口 孝 美

和歌山県立みくまの支援学校 他2校 学校医

《主な功績》 平成6年から現在まで、学校医として長きにわたり、児童生徒の健康的な学習環境づくりのため、環境衛生検査に献身的に取り組み、学校環境衛生の向上に努めた。また、子供たちの健康管理に関し、必要な指導助言を積極的に行うなど、学校保健の向上に努めた。さらに、新宮市医師会理事や新宮市医師会監事等の役職を歴任し、新宮市の学校保健活動の充実に尽力した功績は多大である。

《社会教育部門》

長年にわたり、社会教育活動に携わり献身的活動を続け、青少年の健全育成や、社会体育、文化の向上に貢献した功績が特に顕著である方々に感謝状を贈呈する。

●個人の部

むね
宗

まきこ
真紀子

和歌山県婦人団体連絡協議会 会長
和歌山市婦人団体連絡協議会 会長

《主な功績》 和歌山県及び和歌山市の婦人団体連絡協議会において、副会長及び会長等の役職を歴任し、青少年の健全育成に尽力するとともに、人権学習や子育て支援等、多岐に渡る活動の企画・立案、運営等に尽力し、和歌山市の社会教育の振興に寄与した。また、各行事や研修会に積極的に参加し、地域での婦人会活動に活かすとともに女性の地位向上に努めるなど、幅広い分野において社会貢献した功績は多大である。

や
矢

た
田

よし
嘉

ひで
秀

ボーイスカウト和歌山連盟 理事
ボーイスカウト和歌山地区協議会 地区委員長

《主な功績》 昭和54年から、ボーイスカウト第21団のリーダーとして長年にわたり、団活動・団運営に尽力するとともに、平成21年にはボーイスカウト和歌山連盟理事に就任し、リーダー養成部門において、指導者の育成と資質向上に大きく貢献した。また、平成28年から現在に至るまで、ボーイスカウト和歌山地区協議会地区委員長を務め、県内のボーイスカウト活動の推進に尽力するなど、青少年の健全育成に努めた功績は多大である。

くり
栗

やま
山

ひろ
博

こ
子

有田市地域活動連絡協議会 会長

《主な功績》 平成17年から有田市地域活動連絡協議会会長として、「地域の子供は地域で育てましょう」を合い言葉に、地域の連帯意識を高め、ふれあいのある人間関係づくりに取り組むなど、地域の子供たちの健全育成に寄与した。また、有田市教育委員会委員として、社会教育や生涯学習活動の充実に資するとともに、有田市内4中学校の統合に係る課題等に対し、地域一体的な推進を図るなど、新中学校開校に向け貢献した功績は多大である。

やま だ まさ み
山 田 昌 美

かつらぎ町社会教育委員会 会長

《主な功績》 昭和45年にかつらぎ町青年団体連絡協議会が誕生した当初から会員として青年活動の中心となり、全町的な活動を行うとともに、同連絡協議会の会長、伊都橋本青少年団体連絡協議会会長等の役職を歴任し、青少年の健全育成に尽力した。また、昭和50年から、かつらぎ町社会教育委員として、「かつらぎ町社会教育計画」の立案をはじめ、社会教育関係団体や社会教育指導者等に対する指導助言に積極的に取り組むとともに、町民が心豊かに人生を送れるよう生涯学習の機会と場を提供するための様々な支援や活動を行うなど、社会教育の充実に貢献した功績は多大である。

た なか せい こ
田 中 清 子

和歌山県体操協会 副会長

《主な功績》 平成25年に和歌山県体操協会理事長に就任し、第70回国民体育大会（紀の国わかやま国体）での男女総合優勝を目指し、選手の強化育成や組織の体制づくりを行った結果、体操競技成年男女が優勝、少年男子・新体操が8位入賞を果たすなど、本県の天皇杯獲得に大きく貢献した。また、平成28年に、和歌山県体操協会の副会長に就任し、次世代の選手育成のための組織強化に尽力し、本県の競技力向上をはじめ、体操競技の普及・発展に寄与した功績は多大である。

わき むら けん
脇 村 建

有田市体育協会 会長

《主な功績》 昭和60年に有田市体育協会常任理事に就任して以来、常に先頭に立ち、強力なリーダーシップを発揮し、長きにわたり有田市のスポーツ振興に寄与した。平成24年から現在に至るまで、有田市体育協会会長として、市民の運動習慣の形成を図るとともに、さらなるスポーツ人口の拡大に向け、老若男女問わず楽しむことのできるニュースポーツの普及に尽力した。また、年間を通じて16種目のスポーツ教室を行うことで、それぞれのニーズに合った運動機会を提供し、市民の運動実施率向上やスポーツ振興に寄与した功績は多大である。

●団体の部

ひろがわちようこてんげいのうほぞんかい

広川町古典芸能保存会

会長：佐々木 公平

所在地：広川町

《主な功績》

「広八幡神社の田楽」「乙田の獅子舞」は、ともに毎年10月1日に開催される広八幡神社の秋祭りにおいて奉納される芸能である。これらの保持団体である広川町古典芸能保存会は、奉納芸能の保存・継承を長年にわたって取り組み、活動歴が50年を超える。同保存会では、広八幡神社の秋祭と奉納芸能を永く後世に伝承するために、同社と氏子有志とともに、田楽の指導や、獅子舞の稽古など、後継者育成に努めている。また、秋祭りには地元小学校の児童も多数参加し、文化財である奉納芸能の公開・普及を通して、本県の伝統文化の教育普及・文化振興にも大きく貢献している。このように、同保存会の活動を通じて、地域の若者や子供が伝統芸能に参加することにより、地域文化の担い手づくりや、地域住民の世代間の融和、郷土の歴史文化を学習する機会が保たれており、本県の伝統文化の向上と発展に尽力した功績は多大である。

《優秀教職員》

長年にわたり、本県学校教育の振興に貢献し、その功績が特に顕著である教職員の方々に感謝状を贈呈する。

おお いえ あつ し
大 家 淳 志

新宮市立高田小学校・高田中学校 校長

《主な功績》 生徒一人一人の実態を把握したきめ細かな学級経営と優れた授業実践により、生徒はもとより保護者や地域住民からの厚い信頼を得ている。豊富なアイデアと実行力で、生徒の力を引き出すとともに、学級のみならず学校全体の生徒指導を充実させてきた。現在も小・中学校の校長として、小中連携及び地域とのつながりを大切にした教育活動を推進しており、職場全体の力量向上に寄与してきた功績は多大である。

かな や たか こ
金 谷 孝 子

白浜町立西富田小学校 栄養教諭

《主な功績》 全国栄養教諭・学校栄養職員研究大会において「ノロウイルスによる食中毒防止のための衛生管理をすすめる取り組みについて」と題して発表を行うなど、県内の衛生管理の充実に寄与してきた。また、他の学校栄養職員等と積極的に連携を図り、給食センター発足時には教育委員会との調整や意見具申を行うとともに、小学校入学から中学校卒業後を見据えた食の指導等に関する研究・実践や食に関する指導助言をするなど、専門性を発揮して県内の栄養教諭の中核を担ってきた功績は多大である。

まえ だ かよ こ
前 田 活代子

上富田町立上富田中学校 教諭

《主な功績》 国語科の指導において、新たな教材やICT機器を活用した授業研究を先進的に実践してきた。県教育委員会主催の国語科の研修会での授業提案や、他地方に研修講師として赴いての指導などにより、自身が積み上げてきた教育技術を広めることで県内の国語科教育の向上に寄与してきた。また、初任者の拠点校指導員として、初任者のみならず若手教員の授業力向上に貢献するなど、後進の指導にも精力的に取り組んできた功績は多大である。

和歌山県教育委員会功労賞受賞者

《学校教育部門》

長年にわたり、児童生徒の健康管理・健康教育等に積極的に取り組み、学校保健向上に尽力した学校医、学校歯科医、学校薬剤師の方々に表彰状を授与する。

にし ばた まさ はる
西 畑 昌 治

和歌山市立浜宮小学校 学校医

《主な功績》 平成5年4月から現在に至るまで、学校医として28年9月の長きにわたり、定期健康診断、学校保健会に従事し、児童の健康管理に尽力した。また、和歌山市医師会学校医部会の学童腎臓病検診委員を務め、学校医部会の運営に尽力するなど、学校保健に貢献した功績は誠に顕著である。

まつ もと まさ やす
松 本 正 康

和歌山市立今福小学校 他1校 学校薬剤師

《主な功績》 昭和61年4月から現在に至るまで、学校薬剤師として児童及び生徒並びに教職員の健康的で安全な学習環境作りに尽力し、学校環境衛生向上のため諸検査の実施、その結果に基づく指導・助言を行い、児童及び生徒の健康に対する学習能力向上に寄与した。また、感染症その他の疾患予防に向け、健康指導及び保健指導に従事した功績は誠に顕著である。

たき もと たく や
瀧 本 拓 哉

海南市立巽小学校 他1園 学校医

《主な功績》 平成13年4月から現在に至るまで、学校医及び園医として園児及び児童の健康管理、健康の保持・増進のため、精力的に検診及び指導助言を行うなど、保健活動の充実に尽力した。また、海南医師会学校医部会副会長として、その職務に精励し、海南医師会の発展に貢献するとともに、海南市における学校保健活動にも積極的に従事するなど、地域全体の医療充実に尽力した功績は誠に顕著である。

いけ だ もも こ
池 田 桃 子

海南市立加茂川小学校 他1園 学校歯科医

《主な功績》 昭和57年4月から現在に至るまで、学校歯科医として生徒の歯と口の健康管理のため、献身的・精力的に検診及び指導助言を行うなど、健康づくりの推進に寄与した。また、海南歯科医師会において、理事として海南歯科医師会の充実に尽力するとともに、海南市における学校保健活動にも積極的に従事するなど、子供の歯と口の健康の保持・増進等に貢献した功績は誠に顕著である。

にし じま まさ と
西 島 真 人

有田市立初島中学校 学校歯科医

《主な功績》 昭和62年4月から現在に至るまで、学校歯科医として学校保健の充実向上に熱意を持って取り組み、常に児童及び生徒の口腔内の健康管理、指導に努めている。また、学校保健行政にも積極的に取り組み、健康教育の進展に大きく貢献するなど、その功績は誠に顕著である。

うえ だ えい ぞう
上 田 栄 藏

御坊市立湯川小学校 他2校 学校医

《主な功績》 平成3年4月から現在に至るまで、学校医として児童及び生徒の定期健康診査や予防接種業務に従事するとともに、学校内の健康・安全管理の充実や保健衛生観念向上に尽力した。また、児童及び生徒の生活習慣病予防検診や、それに関連した健康増進と生活習慣との関係の啓発、学校における喫煙防止授業への積極的な参加など、子供の健康づくりに貢献した功績は誠に顕著である。

みなと ぐち ひろ ゆき
湊 口 博 之

新宮市立高田小学校 他3校・園 学校医

《主な功績》 平成7年4月から現在に至るまで、学校医として卓越した学識と高い教育的見識をもって、学校保健・健康教育の推進に尽力した。特に、子供たちが「健やかに、伸びやかに、たくましく」成長するために、一人ひとりの児童及び生徒並びに職員それぞれに対応した保健管理と保健指導により、児童及び生徒はもとより、保護者や地域住民からの信頼も厚く、新宮市立小中学校及び幼稚園の学校医として学校保健に尽力した功績は誠に顕著である。

やま もと さと こ
山 本 哲 子

新宮市立神倉小学校 学校薬剤師

《主な功績》 平成8年1月から現在に至るまで、学校薬剤師として卓越した学識と高い教育的見識をもって、学校保健・健康教育の推進に尽力した。特に、子供たちが「健やかに、伸びやかに、たくましく」成長するために、一人ひとりの児童及び生徒並びに職員それぞれに対応した保健管理と保健指導により、児童及び生徒はもとより、保護者や地域住民からの信頼も厚く、新宮市立小中学校及び幼稚園の学校医として学校保健に尽力した功績は誠に顕著である。

こ とう ゆう へい
後 藤 融 平

広川町立広小学校 他2校 学校医

《主な功績》 平成9年4月から現在に至るまで、学校医として就学時健診・定期健診はもとより、指導を精力的に行うなど、児童及び生徒の健康管理に尽力した。また、新型コロナウイルス感染症等の対応や対策について、献身的に相談に乗るなど、学校の関係者のみならず地域住民からの信望も厚く、保健衛生の向上に貢献した功績は誠に顕著である。

め ら たか し
米 良 孝 志

和歌山県立南紀高等学校 他1校 学校医

《主な功績》 平成8年4月から現在に至るまで、学校医として専門的な知見を活用し、学校保健計画や学校安全計画の策定に携わり、各所属の管理職や養護教諭等を通して必要な指導や助言をするなど、健康づくりの推進に寄与した。また、平成25年5月から2年間、新宮市医師会学校保健担当理事に就き、当医師会の学校医活動の取りまとめに尽力するなど、功績は誠に顕著である。

《社会教育部門》

社会教育活動を継続して行い、青少年の健全育成や、社会体育、文化の向上に貢献した方々に表彰状を授与する。

●個人の部

おお 多
た 田
はる み
玻留美

海南市社会教育委員

《主な功績》 平成14年6月から現在に至るまで、海南市社会教育委員として常に地域住民の立場に立った相談・支援活動を展開するとともに、高齢者宅の見守り活動や小中学校の登下校時の声掛け、通学路のパトロールを定期的実施するなど積極的に取り組まれている。また地区での行事や公民館活動に積極的に参加するとともに、広く地域の意見を集約、提起し海南市の社会教育行政に大きく貢献した功績は誠に顕著である。

すず 鈴
き 木
つね 常
じ 二

紀の川市陸上競技協会 副会長

《主な功績》 平成20年4月から現在に至るまで、紀の川市陸上競技協会副会長として同協会内のアスリートクラブにおいて子供たちを指導し、体力及び競技力の向上を図るなど、社会体育の振興に寄与した。また、紀の川市ジュニア駅伝選手団監督として和歌山県市町村対抗ジュニア駅伝競走大会で4位入賞に導くなど、紀の川市の陸上競技の発展に貢献した功績は誠に顕著である。

いわ 岩
にし 西
たけ 壮
ゆき 行

和歌山県バドミントン協会 副会長 他

《主な功績》 本県バドミントン協会の要職を長年務め、第70回国民体育大会（紀の国わかやま国体）をはじめ、全国、近畿及び県内大会の開催や運営に精力的に取り組み、成功に寄与した。現在もスポーツ少年団の指導者として日々熱心な活動を続けるなど、会員からの信望も厚い。また、近畿及び日本バドミントン協会の要職も長年務め、本県だけでなく近畿全体、また全国のバドミントン競技の普及と発展に長年貢献し、国内全ての競技力が飛躍的に向上するなど、バドミントン競技がメジャー競技に昇華する中で、その地道な功績は計り知れないものがあり、誠に顕著である。

●団体の部

いと が とくしょうじ らいごうえしきほぞんかい
糸我得生寺の来迎会式保存会

代表：伊藤 光碩 所在地：有田市

《主な功績》

「糸我得生寺の来迎会式」は、奈良時代に右大臣藤原豊成（ふじわらのとよなり）の娘、中将姫（ちゅうじょうひめ）が一時隠棲したと伝えられる得生寺において、中将姫の命日である5月14日に毎年営まれる。来迎会式は、阿弥陀如来と二十五菩薩に導かれて中将姫が極楽往生する様子を再現した「練り供養（ねりくよう）」と呼ばれる行事である。雅楽が演奏される中、中将姫を祀る開山堂（かいざんどう）から本堂に渡した朱塗りの回廊に地藏菩薩が先導する極楽浄土の諸菩薩の一行が登場する。道中を浄める僧侶を先頭に少女たちが「中将姫和讃（わさん）」を唱えつつ渡ると、続いて御輿に乗る「阿弥陀像」の前後に様々な法具や楽器を持つ二十五菩薩が進む。糸我得生寺の来迎会式は、昭和43年に和歌山県指定無形民俗文化財に指定されている。保持団体である糸我得生寺の来迎会式保存会は、伝統芸能の保存・継承を長年にわたって地域を挙げて取り組み、活動歴は50年を超える。この会式では、二十五菩薩をはじめとした諸役が地元の小学生によって演じられている点が大きな特徴で、全国的にみても非常に珍しいものとなっている。このように、同保存会の活動を通じて、地域の子供たちが伝統芸能に参加することにより、地域文化の担い手づくりや、郷土の歴史文化に触れる機会が保たれており、本県の伝統文化の向上と発展に貢献した功績は誠に顕著である。

《教育行政部門》

本県教育の向上に努め、地域と連携した教育の推進に貢献した市町村の教育長及び教育委員の方々に表彰状を授与する。

こ ばやし しゅん じ
小 林 俊 治 前 橋本市教育委員会 教育長

《主な功績》 平成26年4月から橋本市教育委員会教育長として、児童及び生徒の学力向上のため、県教育委員会と連携しながら、研修会の実施や指導主事の学校への訪問指導等に取り組むとともに、国・県に合わせて橋本市独自で学力調査を実施し、その後の指導・評価・改善に生かしていくサイクルを確立し、教員の指導力の向上と授業改善を推進した。また、地域の力を学校に、学校の学びを地域に広げる「共育コミュニティ」づくりを推進し、市内全域となる7地域に共育コミュニティ本部の設置を完了するとともに、本部及び教育委員会事務局に意見の取りまとめや連絡調整等を担うコーディネーターをそれぞれ配置するなど、地域・家庭・学校の連携をより深め、暮らしやすく活力のある地域づくりに貢献した功績は誠に顕著である。

くす き しげる
楠 木 茂 前 有田川町教育委員会 教育長

《主な功績》 平成14年12月から旧吉備町及び有田川町教育委員会教育長として、就任以来長年にわたり、先進的な教育理念の元に教育施設の新築及び改修に着手するなど、教育環境の整備に積極的に取り組み、教育の機会均等に寄与した。また、学校規模の適性化を図るため、自ら進んで地域に出向き、地域や保護者と話し合うとともに地域行事や伝統活動等にも積極的に参加するなど、地域住民からの信望も厚く、教育・福祉の向上に尽力した功績は誠に顕著である。

かい ほり まさ み
海 堀 匡 美 九度山町教育委員会 委員

《主な功績》 平成21年10月から現在に至るまで、九度山町教育委員会委員に保護者枠として就任後、12年の長きにわたり九度山町の教育の振興に尽力している。卓越した見識と保護者としての観点からの意見や、いじめ問題に関する取組として、アンケート調査を継続的に実施する他、九度山町教育振興計画の策定に取り組むとともに、その教育目標の実現に向けた施策を推進するなど、九度山町の教育振興に貢献した功績は誠に顕著である。また、町内各学校への空調設備設置などの教育環境の整備に積極的に取り組んだ。

まつ した ずい おう
松 下 瑞 應 元 湯浅町教育委員会 委員

《主な功績》 平成20年11月から湯浅町教育委員会委員として、全ての教育施設の耐震化や、全ての学校普通教室に空調設備の設置を行ったほか、小学校運動場の芝生化や環境に配慮した太陽光発電の設置を行うなど、教育環境整備に尽力した。また、湯浅スポーツセンターや、なぎの里球場等スポーツ施設の改修など教育関連施設の充実にも尽力した。さらに、子育てに関して、「つながろう 湯浅！」を合言葉に、孤立した家庭を作らない「人と人がつながる家庭教育支援」を目指すため、子育てを担う家族を支援する「湯浅町家庭教育支援チームとらいあんぐる」の創設や、活動の取組に尽力するなど、湯浅幼稚園長の知見を活かし、幼児教育及び幼少連携の推進に貢献した功績は誠に顕著である。

たに ぐち ひさ お
谷 口 壽 雄 元 北山村教育委員会 委員

《主な功績》 平成20年から北山村教育委員会委員として、その温厚で誠実な人柄と強い責任感により北山村の学校と地域の教育力の向上のため、小中一貫教育の実現と英語教育の充実に寄与した。また、平成23年の紀伊水害後の復旧に際しては、学校教育の大切さを重視し学校再開に向けて貢献するなど、常に子どもの健全な成長を願い、教育委員会事務局との協働を大切にしながら積極的な支援を行い、村、家庭、学校が一体となった学校教育・教育行政を推進した功績は誠に顕著である。

きのくに教育賞受賞者

本県学校教育において、特に優れた教育実践を行い成果を上げていると認められる教職員の方々に表彰状を授与する。

《小学校の部》

さ さ き ち か
佐々木 千 佳

すさみ町立周参見小学校 教諭

《主な功績》 児童の学習中の様子や家庭学習の成果物等から児童一人一人の学習状況を的確に把握することで、きめ細かい指導を行っている。また、短・中・長期の学習目標を児童とともに設定し、学習意欲を引き出している。その指導力の高さは学校で実施している学力に関する分析結果にもあらわれており、児童や保護者からの信頼も厚い。

平成29年度教職員等中央研修中堅教員研修に参加するとともに、常に指導力の向上に努めている。また、その指導力は他校の教職員にも認められており、他町からの依頼を受け、指導助言を行っている。

平成27・28年度文部科学省委託和歌山県人権教育研究推進事業では、研究主任として、研究推進の核となって授業のユニバーサルデザイン化等に取り組んだ。さらに、その研究成果を発展させ、「周参見小学習過程・学習スキルスタンダード」を作成し、自らの授業で示すことで他の教員の指導力向上に貢献している。

学級担任で月一回実施している「担任の会」の中心となり、授業研究や生徒指導の課題解決に向け取り組んでいる。また、各教員の実践等に対し、認めることや改善することを明確に示した指導助言をしており、若手教員からの信頼も厚い。

いく た あつし
生 田 敦

湯浅町立湯浅小学校 主幹教諭

《主な功績》 学校独自の資質・能力育成表や、考えを整理して話す等の話型を示した「湯浅小学び合いの言葉」を含めた取組「湯小メソッド」の策定に当初から関わり、研究主任として、学校全体での取組を推進している。

児童の学習意欲を高める教材や資料の開発、学習の流れや児童の考えがよりわかる板書について研究・実践を行っている。平成30年度に社会科の指導委員を務めるとともに、地域の社会科教育研究の中心的な役割を果たしてきた。

平成29年度から、大学発教育支援コンソーシアム推進機構（東京大学 CoREF）の推進員として、知識構成型ジグソーによる「協調学習」の考え方を取り入れた学習指導について研究した。また、その成果を研究授業を通じて地域に広く公開した。

令和2年度教職員等中央研修中堅教員研修に参加したことを生かし、オンライン授業の在り方をはじめ、学校が直面する課題に中心となって対応している。また、主幹教諭として、学校運営に欠かせない存在であり、地域の方々との連携や、保護者への丁寧な対応に努めるとともに、若手教員等に向けた研修を実施するなど、教員の人材育成の中心的な役割を担っている。

なかしまつきこ
中 嶋 月 子

田辺市立上芳養小学校 栄養教諭

《主な功績》 県教育委員会が主催する「食育研修講座」の講師を務め、本県の食に関する指導の充実に大きく貢献している。また、西牟婁地方学校栄養士研究会会長を務め、学校給食の献立作成や食育の実践的な指導の在り方等について、的確に助言するなど、当該地方の栄養教諭及び栄養士からの信望がある。

田辺市内の小・中学校からの依頼を受け、食に関する指導を毎年実施している。各校の実態に応じた教材を作成・活用することで、児童生徒の興味・関心を高める工夫を行っている。また、中学校との9年間を見通した指導計画の作成及び実践を行い、その取組を地域に広く普及するなど、食育の推進に寄与している。

保護者の食生活への関心を高めるために、校内で講演会を行うとともに、時節に合った内容を取り入れた給食便りを発行するなど、家庭との連携を図る取組を行い、保護者からの信頼も厚い。

地域住民の協力を得て地域の資源や施設を活用し、ジビエを教材に「命をつなぐ、無駄にしない、大切に作る」という視点を取り入れた実習授業を行い、地域と学校が協力した取組を推進している。

《中学校の部》

みつるくみ
盈 久 美

和歌山市立紀之川中学校 教諭

《主な功績》 英語科において、デジタル教科書やICT機器を積極的に活用するとともに、ペア学習やグループ学習を効果的に取り入れ、言語活動を中心に据えた授業づくりを行っている。生徒に付けたい力を明確にして単元を構想し、生徒が見通しをもって主体的に学習に取り組めるよう工夫している。

高い指導力と更なる向上心をもって研究と実践を重ね、当該市の英語教育においてリーダー的な役割を担っている。また、和歌山県英語教育研究会では、令和元年度から令和2年度まで事務局として中心的役割を担い、県内の英語教育の充実・振興に寄与した。

平成30年度「学力向上コアティーチャー養成・活用事業」に参加し、実地研修において秋田県の中学校の取組から学んだことや自身の実践を、研究授業や報告会等を通して広く普及している。

今年度から2年間、当該市のミドルリーダー育成研修の研究員に任命され、「1人1台タブレット端末を使った授業の研究（中学校）」の班の一員として調査研究活動を行っている。また、当該市の初任者研修において講義を行うなど、若手教員の育成にも力を注いでいる。

しば
芝

みつ
光

よ
世

印南町立印南中学校 教諭

《主な功績》 数学の高い専門性を生かし、生徒一人一人を大切に丁寧な学習指導を行っている。また、数学科の学習を通して、子供に自己肯定感を育むとともに、全ての子供の学力向上を目指し、日々指導方法の改善に取り組んでいる。

平成28年度「学力向上コアティーチャー養成・活用事業」において、福井県での実地研修に参加し、印南町内の小・中学校の管理職や教務主任に研修成果を報告した。また、県教育委員会が主催する「数学科教育研修講座」において、実地研修を生かした授業づくりについて実践報告を行い、県内の数学教員の指導力向上に貢献した。

令和元年度から2年間、日高地方算数・数学教育研究会の会長を務め、他の教員と連携・協力して算数・数学教育の振興に寄与した。また、小・中学校における一貫性のある授業スタイルの統一やノート指導の充実、協働学習の活性化等を進め、当該地域の授業力向上に貢献している。

常に前向きに取り組む姿、積極的に自己啓発に取り組む姿は、若手教員だけでなく多くの教職員の模範となっている。また、学習面、生活面におけるきめ細かい指導や配慮により、生徒や保護者からの信頼も厚い。

やま
山

べ
部

たかこ
太佳子

かつらぎ町立笠田中学校 教諭

《主な功績》 数学科において、生徒による「問題作り」の授業を実践し、生徒の主体性を高める授業を展開している。問題作成、解答、解説作成、発表、まとめ、振り返りという一連の活動を通して、根拠を明らかにし、筋道立てて説明する力の育成に貢献している。

県教育委員会が主催する「平成26年度中学校数学科教育実践研修」において、研究授業を実施した。また、平成30年度から2年間にわたり、県の数学科指導委員を務めるなど、県内の数学教員の指導力向上に寄与した。

令和2年度から伊都地方数学教育研究会の事務局を担当し、他の教員と協力し、教材研究を行っている。当該地域の数学科の中心的な役割を担っており、第66回近畿算数・数学教育研究大阪大会において、実践発表を行い、実践の成果を広く普及している。

顧問を務める吹奏楽部では、和歌山県吹奏楽コンクール中学校小編成部門において、金賞を受賞するなど、生徒の活躍を支えている。また、同部は、町の行事での演奏や、福祉施設でのボランティア演奏等を積極的に行い、地域においても欠かせない存在となっている。

《主な功績》

教職34年目を迎え、現任校では、令和元年度から学年主任として、同僚の悩みや不安に真摯に向き合うとともに、的確な判断力と指導力で学年集団を牽引している。また、学校全体を俯瞰し、自ら率先して行動できるため、学校運営において欠かせない存在となっている。

学級担任や学年主任、進路指導主任を長きにわたり務め、何事にも誠実に取り組み、常に生徒一人一人を大切にされた指導を行うことで、生徒や保護者だけでなく、地域からも厚い信頼を得ている。

理科の授業実践においては、生徒の興味・関心や探究心を高めるため、日々、教材研究や教材開発に取り組んでおり、このような学び続ける姿が、他の教員の模範となっている。また、今年度は、初任者の校内指導員も務め、生徒との関わり方を含め、実践的での的確な指導助言を行うなど、後進の育成に尽力している。

平成19年度教職員等中央研修中堅教員研修及び平成23年度キャリア教育指導者養成研修に参加し、自己研鑽を行っている。また、平成29年度には、近畿中学校道徳教育研究大会において公開授業を行い、道徳教育の推進に寄与した。

《高等学校・特別支援学校の部》

お ざき きょう こ
尾 崎 京 子

海南市立海南下津高等学校 教諭

《主な功績》

17年間にわたる家庭科専門高校での教育実践に基づく高い専門性を生かし、家庭科教育の充実・発展に大きく貢献している。県内唯一の家庭科専門高校として、県全体の家庭科指導力の向上を目指すという志のもと、令和2年度からは、同校と和歌山大学教育学部の共同研究事業にも精力的に取り組み、家庭科研究授業の指導案作成から研究協議に至るまで指導的立場で関与することで、家庭科教員の組織的な指導力向上及び若手教員の育成に尽力している。

保育・介護施設の訪問、手作りマスクの寄贈、地域のイベントでの弁当販売や高校生カフェの運営等、地域との連携に重点を置き、食物、被服、保育、介護等、生活産業に係る実践的な技術を身に付けさせる同校の教育活動を牽引している。また、地域や関連機関・団体等と連携した食育の推進による「和歌山県食育推進表彰」の同校の受賞に大きく貢献した。

平成26年度から8年間にわたり、全国高等学校家庭科被服製作技術検定・食物調理技術検定本部委員を務めている。また、近畿ブロック高等学校家庭クラブ連盟の成人副会長として、近畿府県連絡会の中心的役割を担っており、本県のみならず全国の家庭科教育振興にも大きく寄与している。

学年主任や分掌長等の要職を担い、特に、進路指導面では、外部機関との連携を深め、きめ細やかな就職指導体制の構築に尽力しているほか、生徒や保護者への粘り強い指導や働きかけにより、各方面から厚い信頼を得ている。

はた か おり
畑 香 織

和歌山県立たちばな支援学校 教諭

《主な功績》

長年にわたり教育相談担当者として、校内のみならず地域の就学前の幼児から高校生までの幼児児童生徒やその保護者・関係者への相談活動に精力的に取り組むとともに、医療や福祉をはじめとする関係機関等とのコーディネートを行い、地域の特別支援教育の充実に貢献してきた。

高等学校の通級指導教室担当者に自立活動の指導について情報提供を行うなど、高等学校における特別支援教育の推進に貢献している。

発達障害の二次的な障害を有する生徒への支援方法について教育実践を重ねており、その成果を「日本特殊教育学会」「日本育療学会」等の学会誌、和歌山大学武田教授編著の書籍「発達障害の子どもの『できる』を増やす提案・交渉型アプローチ 叱らないけど譲らない支援」にて分担執筆を担うなど、積極的に発信することを通して、発達障害の二次的な障害を有する生徒への適切な支援方法の周知に大きく寄与している。

学年主任として、知的障害があり心理的な不適応等二次的な障害を有する生徒への支援について、同僚教員等に対して有益な助言を行っており、教員の専門性向上に大きく貢献している。

うえ むら
上 村

かつら
桂

和歌山県立熊野高等学校 教諭

《主な功績》

「Kumano サポーターズリーダー部」の顧問として、高齢者・学童・障害者との触れ合いを大切にしたサポート活動、防災の取組、世代間交流等の活動を、福祉、教育、介護、防災等を担う地域団体と連携しながら展開し、地域協働型サービスラーニングを通して、地域に貢献できる生徒の育成に尽力している。

平成27年度の上富田町と熊野高校による「まちづくり連携交流協定」締結には、同部の活動が大きく貢献した。地域イベント活動や、高齢者宅訪問、転倒予防教室・生きがい活動、学童保育、障害児保育の各ボランティア活動を、上富田町等と協働しながら継続的な活動に発展するようコーディネートしたことにより、地域課題の解決とともに、生徒の達成感や充実感の獲得につながっている。

女性に対する AED 使用率が低いことを受け、SDGs の「ジェンダー平等の実現」「つくる責任つかう責任」の目標達成と関連付けて、廃棄布を活用し、患者の姿が周囲に見えないように体を覆う「AED シート」の製作を指導した。このシートを地域の AED が設置されている多くの施設に寄贈する取組を行い、第1回 SDGsQuest みらい甲子園大日本住友製薬株式会社賞の受賞に貢献した。

和歌山県家庭科教育研究会の常任理事を務め、県や近畿の研究会で授業実践についての研究発表や、全国高等学校家庭科技術検定代表理事として、県内での伝達講習会を通して、家庭科教育の充実・発展に寄与している。

しげ た みずほ
茂 田 美珠穂

和歌山県立那賀高等学校 教諭

《主な功績》

令和元年度から3年間にわたり、県高等学校文化連盟事務局長を務め、県内高等学校の芸術文化の振興と健全な高校生の育成に寄与している。

本県で初めての開催となった全国高等学校総合文化祭「紀の国わかやま総文2021」に向け、先進県視察や広報活動、企画・準備等に精力的に取り組む、新型コロナウイルス感染症拡大による逆境の中にあっても、着実に任務を遂行し、本大会を成功に導いた。

放送部顧問として、動画編集やアナウンス・朗読指導に専門的な知識を遺憾なく発揮し、その熱心な指導は、生徒の向上心を高めるとともに、同部の近畿高等学校総合文化祭や全国高等学校総合文化祭、NHK 杯全国高校放送コンテスト等での入賞に大きく貢献した。また、平成27年度国民文化祭では、ショートムービーコンテスト自由動画部門において、文部科学大臣賞を受賞した。

同校放送部は、地域連携活動に積極的に取り組んでおり、平成28年度からは JR 西日本和歌山支社との共同プロジェクトにより、地元沿線の PR 活動を行っている。また、令和2年度からは、岩出警察署と「FLORIA 岩出警察署高校生広報員」を立ち上げ、交通安全の広報活動や地域の防犯啓発活動にも取り組んでおり、生徒に地域と関わることの大切さを実感させ、地域貢献を通して自己有用感を育む指導を実践している。

きのくに教育の匠受賞者

きのくに教育賞受賞者のうち、特に継続的な実践で成果を上げ、かつ、他の教員の指導力向上に寄与した方に対して称号を与える。

《小学校の部》

はやし
林

ひで
秀

み
美

紀の川市立池田小学校 教諭

《主な功績》

理科の指導において、児童の関心・意欲を高め、科学的思考に基づいた疑問や予想を十分に引き出すような工夫をしている。一人一人が主体的に観察・実験を行うことで、結果から考察できる授業を実践し、児童の科学的思考力の向上に貢献している。

理科専科教員として、学年の枠を越えて学校全体を見通した研究を進めることにより、児童の学力向上に寄与している。

平成30年度紀の川市初任者研修の講師を務め、初任者に理科をはじめとする授業づくりの心得について伝達し、若手教員の育成に尽力した。また、平成30年度紀の川市指導委員（理科）を務め、学校訪問や指導案の検討等で適切な助言を行い、市内全域の理科教育の向上、充実、発展に寄与した。

本年度は教務主任として学校全体を俯瞰的にとらえ、各業務を的確に行うことで、円滑な学校運営に寄与している。また、何事にも熱心な姿勢や、きめ細かい指導は若手教員の模範となり、教職員からの信頼も厚い。

なか
中

しま
嶋

つき
月

こ
子

田辺市立上芳養小学校 栄養教諭

※《主な功績》については、きのくに教育賞受賞者を御覧ください。

《中学校の部》

むら やま のり こ
村 山 典 子

田辺市立明洋中学校 教諭

《主な功績》 音楽の高い専門性を生かし、生徒の自主性を大切にした指導により、生徒の能力を最大限に引き出している。また、ゲストティーチャーを招いた研究授業を行うなど、地域と連携・協働した授業づくりを熱心に行い、生徒、保護者、地域からの信頼も厚い。

前任校では、100人を超える学年合唱の指導に取り組み、校内合唱コンクールの指導では、達成感や充実感を味わうことの効果を、生徒のみならず教職員に伝達し、学校全体の教員の指導力向上に寄与した。

前任校の合唱部や現任校の吹奏楽部の指導において、一人一人に応じたきめ細かい指導にも取り組み、各種音楽コンクールや発表会で数々の賞を受賞し、近畿大会や全国大会の出場に導くなど、大きな功績を残している。

県内に配布されている和歌山県民歌の収録にも尽力するなど、合唱部の校外における活動として、様々な機関から直接要請を受けて積極的に参加し、高い評価を得ている。

すが や よし ふみ
菅 家 良 史

橋本市立紀見北中学校 教諭

※《主な功績》については、きのくに教育賞受賞者を御覧ください。

《高等学校・特別支援学校の部》

きし だ そう へい
岸 田 壮 平

和歌山県立海南高等学校 教諭

《主な功績》 平成16年度からSSH(スーパーサイエンスハイスクール)に指定されている同校において、長年にわたって事務局長を務め、生徒の探究心を高め、課題解決に主体的に取り組む生徒の育成に大きく貢献した。また、SSH事業の中で毎年発行する事業報告書の編集や執筆、研究発表会の運営等でも中心的な役割を担い、同校の実績を各界にアピールする原動力となった。

和歌山大学やJAXA、理化学研究所等の外部機関との橋渡し役を担い、生徒の視野を広げる郊外研修を実現させた。また、地域人材を活用し、地域の産業や歴史を学ぶ機会を新たに設け、キャリア意識の醸成につなげている。

課題研究であるSITP(Science Instructor Training Program)及び情報コミュニケーションの授業等、教科の垣根を越えた授業のモデルを構築し、他の教員に良い影響を与えた。また、学校をあげた探究活動により、新たな価値を創造する力を持った生徒の育成につなげることができた。

地域の児童生徒の科学に対する興味関心を高めるSSI(Student Science Instructor)活動の中心人物として、地域に出かけ、専門知識を生かした地域貢献を行った。この活動は、生徒に自己有用感を持たせ、高校生活全般におけるモチベーションの向上に寄与する取組となっている。

もり さだ まさ はる
森 貞 昌 春

和歌山県立星林高等学校 教諭

《主な功績》 音楽の高い専門性を生かし、学習方法等を常に創意工夫するなど、授業の研究を熱心に行い、実践している。平成22年度から6年間、教科の指導委員を務め、授業研究会等で指導助言を行うなど、他の教員の指導力向上に貢献した。

同校吹奏楽部では、自主的に行動できる部員の育成を目指し、部員一人一人に手帳を持たせ、目標や予定等の自己管理と振り返りを指導しているが、その取組は、現在では学校全体のものとして定着している。また、年間を通して多くの休養日を設けながらも、吹奏楽コンクール、マーチングコンテスト、アンサンブルコンテストの3部門全てにおいて、平成25年度以降連続で県代表に導くなど、質の高い指導を行い、功績を残している。

吹奏楽部では、近隣の小・中学校の夏祭りでの演奏、児童生徒が音楽に触れ成長する機会の提供、地域で開催される各種式典や災害等に係るチャリティーコンサート等、校外でも積極的に活動し、地域との連携・協働に取り組んでいる。

「2015紀の国わかやま国体・紀の国わかやま大会」や「ねんりんピック紀の国わかやま2019」における式典音楽隊、平成27年度開催の「全国高等学校総合体育大会」における総合開会式のマーチングバンドの指揮を担当し、参加した生徒をよく束ねた。また、「紀の国わかやま総文2021」では、総合開会式の総合プロデューサーを務め、大会を成功に導いた。